

編集委員会ニュース(第2号)

令和6年度活動計画に沿って、6つの部会に分かれて調査・資料収集を行っています。区民の皆様のご協力をいただきながら数多くの現地調査を実施、また聞き取り調査も18件、結果として多くの新たな発見がありました。令和7年3月の章立て(目次作り)に生かしていきたいと思います。

『洗馬地区誌』は予定通り5年後(令和11年3月)の刊行を予定しています。今後とも一層のご協力をお願いします。

各専門部会の主な調査結果

部会名	主な調査事項
すがた (自然・地名)	○鳥獣被害、松枯れ、有害鳥獣 ○巨木名水、貴重動植物、洗馬の気候
あけぼの (原始・古代)	○妙義かん水組合工事に合わせ遺物収集 ○槻井泉神社、長瀬氏、三村氏など
近世 (江戸時代)	○江戸時代古文書調査(岩垂家、原家、古厩家他) ○本洗馬大火と妙義神社
近代・現代 (明治以降)	○明治期の村政・教育 ○小曾部山問題 ○戦時体制下の暮らし ○塩尻市合併
くらしといのり (産業・民俗)	○各地区の石神仏 ○各地区の祭典 ○各地区の水(生活用水、せんげ)
ふるさとづくり	○戦後の公民館報 ○公民館活動 ○財産区 ○スポーツを通じての交流



奥平イワナ養殖場で大井氏に聞き取り



あけぼの部会の遺物収集により、平出博物館が発掘調査実施。平安時代の住居跡等を発見。「槻井泉神社北遺跡」と命名された。

ふるさと文化祭に出展

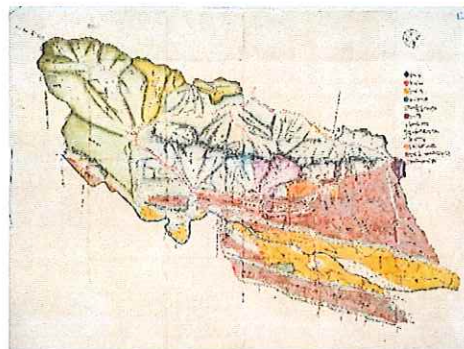
10月19・20日の文化祭では、展示パネル8枚に写真や現物を多用して、各部会毎活動内容を紹介しました。



大勢の来館者がありました。



百瀬市長にも展示説明。



1817年に作成された「本洗馬村絵図」
長野県立歴史館所蔵、歴史館を訪問し撮影

編集委員会主催の行事

- ★5月18日「新池」「古池」の環境調査(財産区と)
- ★6月15日 かやの自然観察会(公民館と)
- ★10月19・20日 ふるさと文化祭に出展
- ★7月、9月 釜井庵寺子屋塾後援

執筆準備

『洗馬地区誌』はB5版カラー400ページを予定していますが、本の構成を決めるため章立て(目次と各頁数)を各部会で検討中です。来年3月に編纂会に提出予定です。

今回は「洗馬のすがた部会」を紹介



洗馬のすがた部会は、名木と呼ばれる大きな木や名水と呼ばれるきれいな湧き水、洗馬でしか見られないめずらしい植物や動物・昆虫など、洗馬の誇りであり、これからも残していきたい洗馬の自然を調査しています。また、洗馬の地名の由来、洗馬の大地や気候の特徴なども調査しています。

メンバー 征矢野 智 大槻憲吾 征矢野 泉

中原文彦（副部長） 青柳信雄（部長） 大池佐一郎



洗馬指折りの巨木（白滝のカツラ）



清楚で貴重な花・ヒメハギ
（上小曾部かやの）



名水・堂平公園町沢の湧水



難航した「古池」探索



27年ぶりに確認した「古池」



今年も発生、岩垂原の砂嵐

昔の洗馬の写真・原始古代の遺物の情報をお寄せください。

編集委員会の発足以来、多くの写真（昔の自然風景、行事、イベント）や原始・古代の遺物が寄せられました。引き続きご協力をお願いします。

昔の洗馬の写真

☆特にこんな写真がありませんか？

- (1) 沓沢湖スケート・ボート遊び (2) 貸衣装結婚式
- (3) 校庭・岩垂グラウンド・田んぼでのスケート
- (4) 戦後の文化祭（展示会、畜産野菜の品評会）
- (5) 妙義山遠景古写真 (6) 桑畑、ブドウ園（芦ノ田）

☆連絡先 三溝 隆（090-9666-0024）

原始・古代の遺物

☆原始古代時代の遺物（石器、矢じり、土器など）お持ちの方は情報をお寄せください。

☆編集委員がおじゃまし、お話を伺い写真撮影させていただきます。

☆連絡先：熊谷康治（090-9006-6082）